

PRIMERGYで実現するNASソリューション

社内データの管理に過度な時間とコストを費やしていませんか？

日々複雑化する企業の情報システム。増加の一途をたどる膨大なデータ。

そのデータ管理に費やす時間とコストは膨大なものとなります。

そんなお客様の負担を、「PRIMERGY Storage Server」が軽減します！

PRIMERGY Storage Serverとは？

PRIMERGY Storage Serverとは、高性能かつ高信頼な富士通のPCサーバ「PRIMERGY」にMicrosoft社のNAS専用OS「Windows® Storage Server 2003 R2」をプリインストールして提供する、NASソリューションモデルです。より効率的で運用管理のしやすい情報システム構築を支援します。

PRIMERGY Storage Serverの主な特長

容易な導入・運用管理

簡単な導入

Windows Server® 2003 R2をベースとし、ファイルサーバの機能を追及したWindows® Storage Server 2003 R2は、ファイルサーバ用にパフォーマンスチューニングされているため、設定から運用開始までにかかる時間をほとんど要しません。また、既存のネットワークを変更する必要がないため、簡単に導入いただけます。

CALが不要

Windows® Storage Server 2003 R2はクライアントアクセスライセンス(CAL)を必要としないため、ユーザーやパソコンの増加に伴うCALの追加が不要です。それにより、CAL追加時の手間や費用を省けます。

ディスク容量の節約

Single Instance Storage機能により、サーバに保存されている重複したファイルを1つに集約でき、ディスク領域の使用量を節約できます。ファイルが集約されたことを意識せず、ファイルが元あった場所にアクセスできます。また、ファイルを編集すると集約されたファイルではなくなり、ファイルアクセスの利便性を損ないません。

運用管理の簡略化

ネットワーク上にPRIMERGY Storage Serverを設置し、分散したファイルサーバを1つに統合することで、運用・保守管理作業を簡略化することができます。リモートデスクトップにより、リモートでファイルサーバの一元管理が可能となります。

高性能・高信頼・拡張性の高いシステムを実現するアーキテクチャ

品質と信頼性へのこだわり

PRIMERGY Storage Serverは、高品質・高信頼なPRIMERGY「TX200 S3」と「RX300 S3」にWindows® Storage Server 2003 R2をプリインストールしたタイプでご提供。日本のお客様の高い要求にお応えするために、多彩なシステム開発で培った経験と技術力を兼ね備えた富士通の国内工場にて製造しております。

ハードウェアの耐障害機能

ハードディスク、電源ユニット^{*1}、ファン^{*2}の冗長化により、ハードウェア故障時のシステムダウンを防止します。さらにハードディスク等のホットプラグ対応により、万が一の故障時にはシステムを停止することなく交換できます。

*1:オプション *2:TX200 S3はオプション

システムの拡張性を維持

PRIMERGY Storage Serverのサーバ製品は、最新の技術を採用しながら現状システムとの互換性を考慮して設計。長期に渡る業務の継続性を実現するだけでなく、システムの拡張性をも維持します。

消失データの復元

シャドウコピー機能を使用することで、誤って削除/変更してしまったファイル、破損してしまったファイルのデータを短時間で復元することができます。

TCOの削減

クライアントアクセスライセンス(CAL)を必要としないため、導入コストを削減できます。また、複数のファイルサーバを1つに統合し、集中管理することで、稼働資産のコストを削減。さらには、リモートデスクトップを利用することで、クライアントPCからリモート管理ができるため、保守・運用管理の簡素化が可能。管理工数を削減できます。

データセキュリティの維持

Windows® Storage Server 2003 R2上では一般的なウィルス対策ソフトウェアをサポートするため、既存の資産を無駄にすることなく、セキュリティを維持できます。

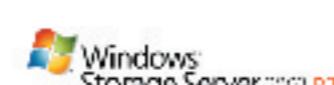
iSCSIへ対応

Windows® Storage Server 2003 R2専用のオプションソフトウェア「iSCSI Software Targetパック」をPRIMERGY Storage Serverに追加インストールするだけで、iSCSIネットワークストレージ装置としてすぐにご利用いただけます。既に導入済みのサーバのディスク容量が枯渇し、これ以上物理ディスクが増設できない場合、iSCSIターゲットサーバの仮想ディスクを追加することで容易にディスク容量が増設できます。また、DBアプリケーションやメールサーバアプリケーション用のDBファイルの保存場所としてiSCSI Targetサーバの仮想ディスクを利用できます。

高性能・高信頼・拡張性の高いシステムを実現するアーキテクチャ

サーバの安定稼働を支援

PRIMERGY本体に標準添付のサーバ監視ソフト「ServerView」をインストールすることで、サーバの状態監視が可能。CPU、メモリ、HDD、ファンなどの稼働状況、筐体内の温度や電圧等のサーバステータスを確実に把握することで、安定稼働を強力に支援し、容易かつ確実なサーバの運用管理を実現します。

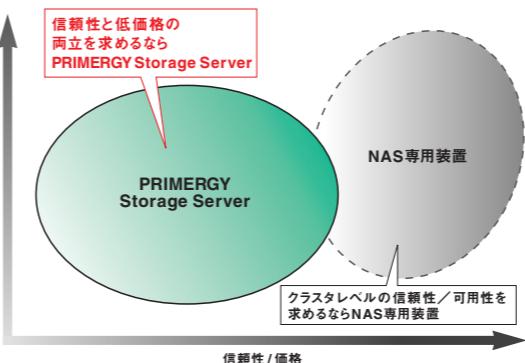


PRIMERGY
RX300 S3



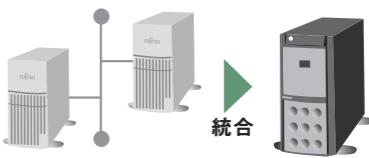
PRIMERGY
TX200 S3

PRIMERGY Storage Serverの位置付け



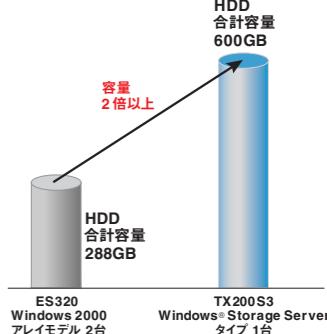
旧ファイルサーバとの比較

5年前の機種に比べてHDDの容量が飛躍的に増えているため、1台のサーバに統合できます。



旧ファイルサーバ構成
PRIMERGY ES320 Windows 2000アレイタイプ
+HDDフル搭載(36GB×5:RAID5)
ファイルサーバ2台
HDD容量の合計 = 288GB

PRIMERGY TX200 S3
Windows Storage Serverタイプ
HDD容量の合計 = 600GB



HDD合計容量 600GB
容量2倍以上
HDD合計容量 288GB
ES320 Windows 2000 2台
TX200 S3 Windows Storage Server タイプ 1台

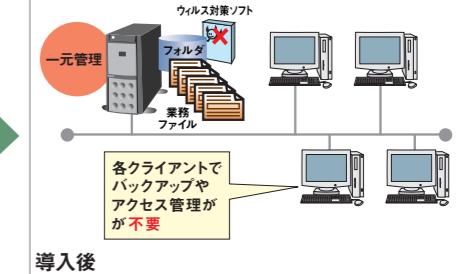
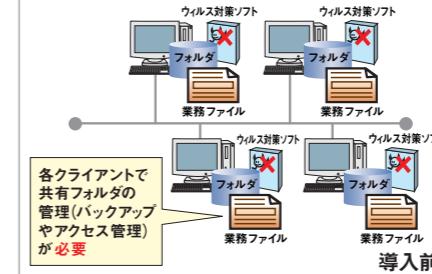
PRIMERGY Storage Serverが提供する主なソリューション

Solution 1: 小規模ネットワークへのファイルサーバの導入

- 課題
- 分散している業務ファイルを一括管理するファイルサーバを安価に導入したい。
 - 各端末に分散する業務データのウィルス対策などに管理コストがかかる。

サーバを導入していない小規模ネットワークにファイルサーバを導入することで解決！

- クライアントアクセスライセンス(CAL)が不要なため導入コストを削減します。
- 各クライアント機に分散されていた業務ファイルを集中管理することができ、業務効率が向上します。
- セキュリティの管理やバックアップの一元管理ができる上、管理コストを削減します。

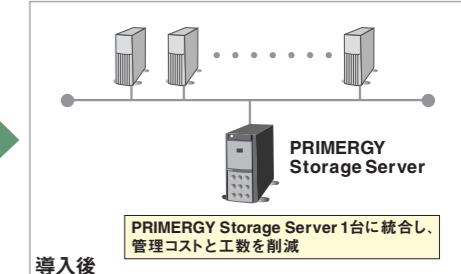
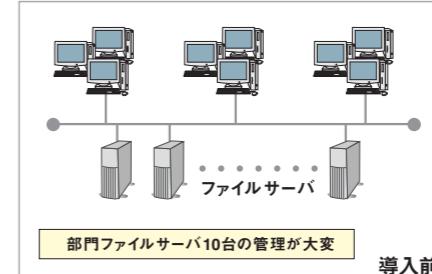


Solution 2: ファイルサーバの統合

- 課題
- ファイルサーバを多数保有しており、管理コストや運用管理に費やす時間を削減したい。
 - 散在するサーバを1台に統合して管理したいが、統合するのに時間がかかる。

乱立しているファイルサーバを、PRIMERGY Storage Serverに統合して運用・保守の工数を削減！

- 散在したファイルサーバのデータを1台のサーバに集約することで、管理工数を大幅に削減します。
- 既存のネットワークを変更することなく導入できるため、業務に支障なく短時間でのファイルサーバ統合が可能です。
- ハードディスクのホットスワップはもちろん、SDDC対応メモリやスペアメモリ機能にも対応しているため、可用性も格段に向上します。



Solution 3: D2D2T (Disk to Disk to Tape)による効率的なバックアップ

- 課題
- 点在している業務サーバのデータを個々にバックアップして保管・管理するのが大変。
 - 操作ミスによるデータ消失への対策が必要である。

複数のサーバのバックアップを一元管理することで運用工数を削減！

- 誤って消失してしまったデータは、ハードディスクからリカバリを行えるため、迅速な復旧が可能となります。
- Disk to Disk: 内蔵ハードディスクに差分バックアップが可能なため、バックアップ時間の効率化を図れます。
- Disk to Tape: 各業務サーバのデータを一括でテープに保存できるため、業務サーバに影響を与えることなくFullバックアップをとれます。

